

福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年12月号）

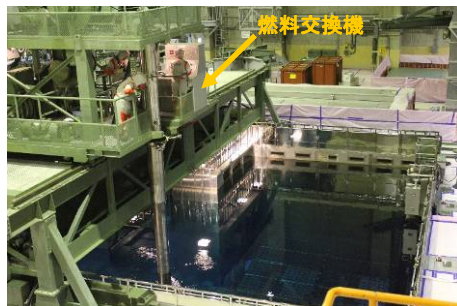
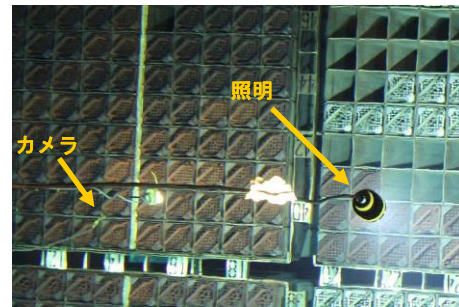
福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

3号機の燃料移動に向けた準備作業を着実に進めています

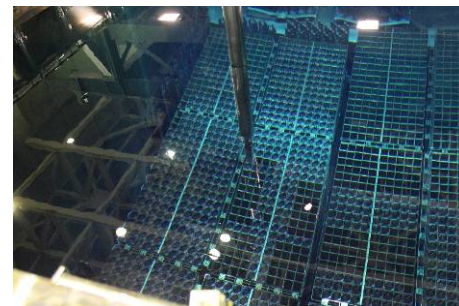
- 当所では、設備の維持管理の簡素化の観点から、原子炉の燃料を使用済燃料プールへ移動することとしており、3号機では、今年度中の実施に向けて準備を進めています（1、2、4号機は燃料移動済）。
- 現在、プール内で燃料を収納する使用済燃料貯蔵ラックの外観目視点検を行っています。これらのラックは、原子炉内にある764体の燃料の移動先であり、燃料を安定して保管するための重要な設備です。点検は、燃料交換機からプール内へ水中カメラを吊り下ろし、モニターで確認します。
- 点検では、ラックの下部にあるボルト等の状況も確認することとしており、事前に点検箇所付近に収納してある燃料を移動しました。
- 燃料移動に向けた準備作業を安全最優先で着実に進めていきます。



燃料を収納するラックの点検の様子



ラック内で点検対象箇所付近の燃料を移動している様子



福島第一原子力発電所廃炉作業の後方支援としての役割を担っています（その2）

- 先頃、当所の物揚場（港に面した敷地）において、福島第一廃炉作業で使用するタンク（溶接型）の組み立て作業を行いました。
- この作業を当所で行うことで、福島第一では、作業エリアを有効活用できるとともに、結果的に被ばく低減と作業負担の軽減がはかられました。
- 物揚場での作業は、作業環境の観点で効率的に作業を進めることができる他、資材の積み下ろしなど運搬の面でも利点があります。組み上がったタンク（容量約1,200m³・重量約70t）は、順次、専用の船に積み込み、福島第一まで海上輸送しました。
- 当所はこれまでも、人的な支援をはじめ、港湾内の海底土を固める被覆材の製造や、フランジタンク底板補修の確証試験なども行っています。



溶接型タンクの作業風景



溶接箇所を確認をしている様子



大型クレーン（吊上荷重約500t）での輸送船へのタンクの移動



タンクの輸送

地域で大規模火災が発生した場合には 給水隊が緊急出動します

- 当所では、発電所構内での火災発生時に備え自衛消防隊（約200名で構成）を組織しています。発電所構外で大規模な火災が発生し消火用水の補給が必要となった場合には、公設消防の要請に基づいて、自衛消防隊の給水隊（約40名で構成）が応援のため緊急出動します。
- 給水隊は、万一の出動に備えており、すみやかな対応が行えるよう、11月には給水車などを使った実動訓練を行いました。
- 訓練では、緊急参集した後、給水隊長の指揮のもと発電所に配備している給水車へ水を補給し、発電所構外へ出動しました。訓練後は振り返りを行い、各自の行動および連携について再確認しました。
- 引き続き、地域の消火活動のお役に立てるよう、訓練を重ねていきます。



給水車出動



消火栓を使っでの給水車への給水



給水車上部からの給水



給水隊を統括している
防災・放射線安全部長
齋藤 克彦

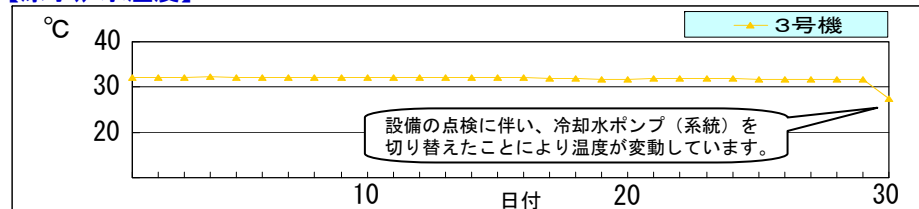
自衛消防隊・給水隊は、発電所構内における消火活動はもちろん、公設消防の要請で給水を迅速・確実にできるよう訓練に励んでいます。隊員一同、少しでも地域防災のお役に立ちたいとの思いを持って、今後も取り組みを進めていきます。

【プラントデータ】

燃料の冷却状況（11月分）

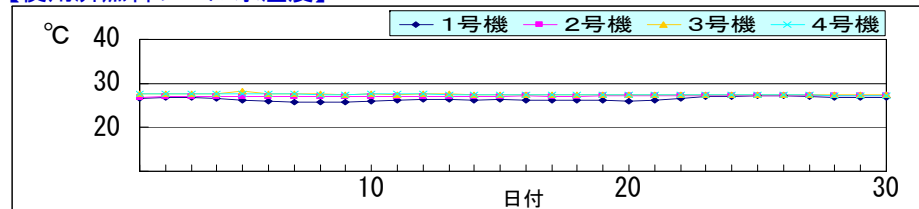
原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【原子炉水温度】



1号機は平成26年7月10日、2号機は平成25年10月16日、4号機は平成24年10月24日に、原子炉内から764体の燃料すべてを取り出し、使用済燃料プールへ移動しました。

【使用済燃料プール水温度】



さらに詳しい情報は当所ホームページをご覧ください。

<URL>

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

<QRコード>



発電所内の放射線量を常時監視しています

- 当所では、敷地を囲むようにモニタリングポストを7基設置しており、敷地境界付近の空気中の放射線量を24時間測定し監視しています。
- 測定した空気中の放射線量については、10分おきのデータを当所ホームページにて公表しています。
- モニタリングポストは、定期的に点検を行っています。先月末から約10日間かけて、放射線の検出器の確認試験を行い、全7基とも正常であることを確認しました。点検作業は1基ずつ行い、その間は、代替の測定器を配置し、空気中の放射線量を継続監視します。



モニタリングポスト



検出器の確認試験の様子

<当所ホームページ モニタリングポスト計測状況のURL>

<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>